

妊娠高血圧症候群 入院後、突然の診断。

帝王切開、腎不全を乗り越えて

私は33歳で妊娠、出産をしました。

妊娠発覚時から順調に経過していましたが、妊娠後期になってから体のむくみが酷くなり、尿蛋白も若干見られるようになっていましたが、お薬を内服して経過観察していました。

赤ちゃんは元気に成長してくれていましたが、予定日を過ぎてもなかなか下りてきてくず、入院して計画分娩で促進剤を打つことになりました。

入院当日、入院して体温・血圧を測定すると、37.2℃の熱、血圧も180あり、妊娠高血圧症候群の疑いで急遽帝王切開で出産することになりました。心の準備をする暇もなく、あれよあれよと手術室に運ばれて、ドラマで見るような手術台に乗られ、体には緑のシートをかけられ、ずっと心臓バクバクだったのを覚えています。でも、赤ちゃんの産声が聞こえてきたときには、感動で自然と涙が流れてきました。あの瞬間は、今でもはっきりと思い出せます。自然分娩では産んであげられなかったけど、帝王切開も立派なお産なのだと思身をもって体験しました。

その後、子宮からの出血が止まらず、夜中に大学病院に転院になりました。大学病院に着いてから、いろんな部屋に連れていかれて、MRI検査をしたり、子宮からの出血を止める塞栓術をやったりしましたが、帝王切開後の術後の痛みがあまりにも痛くて（麻酔が切れるとめっちゃくちゃ痛い）、正直あまり覚えていません。

検査が終わり、集中治療室に運ばれましたが、痛みが酷いのと、術後の副作用で吐き気も酷かったので、全然眠れませんでした。また、腎機能が急激に悪くなっているということで（学会で発表するレベルで珍しい症例と言われました！）、むくみが酷く、寝返りを打つのも難しいくらいに全身がむくんでしまい、スマホを持つのも大変でした。

集中治療室では、首と手首に管を繋がれて、出血が酷かったので輸血、腎不全のため透析、尿道カテーテル留置、血中の酸素が少なくなっていることから酸素も入っていました。輸血の際にはアナフィラキシーが出る可能性があることが話されたり、酸素濃度が低いままだと人工呼吸器をつけることになることが話されたりして、「あ、私死ぬのかな」と思ったこともありましたが、でも、産まれたばかりの子どもを抱けないまま死ねない！と思い、治療

を頑張りました（大学病院の先生方が治療してくれたので、私はベッドで寝ていただけですが）

その甲斐あって、入院9日目で一般病棟に移ることができました。ずっとベッドに寝ていたため、トイレまで歩いていくのも一苦労でしたが、数日で体力も戻ってきたので、入院13日目で赤ちゃんが大学病院に転院してきました。赤ちゃんとの再会できたときは、ようやく会えたなー、と胸がいっぱいになりました。

それから退院までの間、赤ちゃんのお世話と腎臓関連のことを並行して行っていました。尿道カテーテルが抜けてからは頻尿になり、1時間ごとにトイレに行きたくなるのが大変でした。また、腎不全になった理由が原因不明のため、腎生検も行いました。（腎臓の細胞を採取する検査で、とても緊張しました）

入院20日目で無事退院になりましたが、退院時、先生から「腎機能が一度落ちるところまで落ちてしまったから、ここからどこまで回復するか。場合によっては透析が必要になるかもしれない。」と話されました。また、「2人目妊娠を考えている場合は、2人目出産時も妊娠高血圧症候群になる可能性があるため、大学病院に相談するように。」ということでした。

退院後、産科と腎臓内科に通院していましたが、どちらも回復したため治療は終了になりました。腎臓内科は、念のため血液検査目的で通院継続中です。腎不全になった原因は、急激に血圧が上がったからということでした。

一時は死がよぎり、今後透析が必要になるかもしれないと覚悟していましたが、出産したクリニックがすぐに大学病院に運んでくれて、大学病院が適切な治療を迅速に行ってくれたおかげで、内服や食事制限なく、元気に子育てしながら仕事をしています。子どもも異常なく元気に保育園に通っています。でも、2人目は考えていません。また妊娠高血圧症候群になったらと思うと、積極的には考えられないです。もうあんな体験はしたくありません。本当に辛くて大変でした。でも、あの体験があったからといたら変ですが、こうやって普通に生活できていることに感謝感謝の日々を送っています。

自分では妊娠中気を付けていたつもりでしたが、いざ出産というときに妊娠高血圧症候群になりました。私のような症状になる人は稀だと思いますが、こんなに恐ろしい病気なんだよ、ということを知ってもらえたらと思います。